

基礎医学研究用途

事象関連電位測定プログラムシリーズ (NoruPro Light Systems)



EP Travel Standard2 (リアルタイム ERP 測定)

EP Travel Standard2 は、ポリメイトと組み合わせてフィールドで事象関連電位を測定するためのソフトウェアです。ポリメイトと1台のノート型 PC 及び外部刺激装置 (刺激シーケンサシステム) からのトリガ信号を入力して、リアルタイム ERP 計測を行い、その場で結果を確認できると同時に、研究用にオフラインでの再加算などの詳細な解析が可能になります。

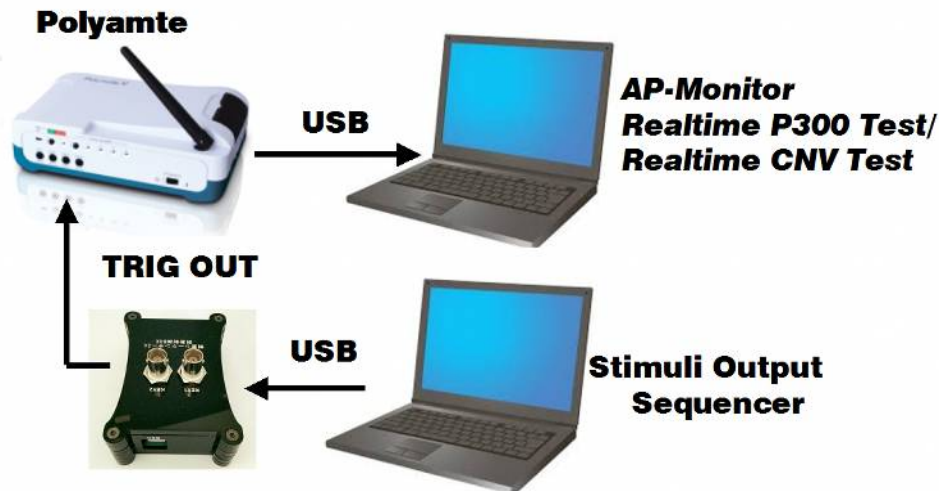
ソフトウェア構成

- リアルタイム加算モニタ (Realtime P300 Test/ Realtime CNV Test)
- 誘発波形基本ソフトウェア (EP Multi Viewr)
- 再加算解析ツールプログラム (P300/CNV ReAverage Analysis)

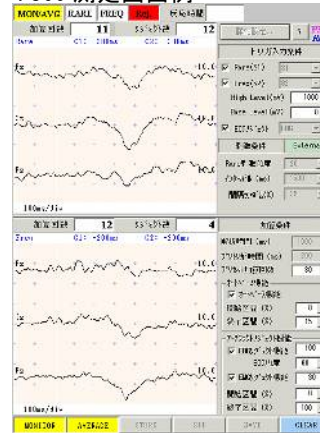
特徴

- 小型・軽量システムにより、フィールドでの測定が行えます。(別途外部刺激装置が必要です)
- 多チャンネル(PolyamteCH数+Trig2Ch)の計測が可能です。トリガは2系統が可能です。
- 外部からのトリガ出力を認識してリアルタイム加算及び保存が可能です。
- リアルタイムでERP加算波形モニタができるので、測定結果の確認ができます。
- 誘発波形基本ソフトウェアでは多様な波形表示兵法ができ、波形グループ間の演算も簡単にできます。
- 加算結果だけでなく1刺激ごとのデータを保存し、後で再加算が可能になります。
- マーカー機能が充実しています。(誘発波形基本ソフトウェア)
- オプションソフトウェアを追加することでマップ解析やグランド加算が可能です。
- 操作ヘルプが充実しています。

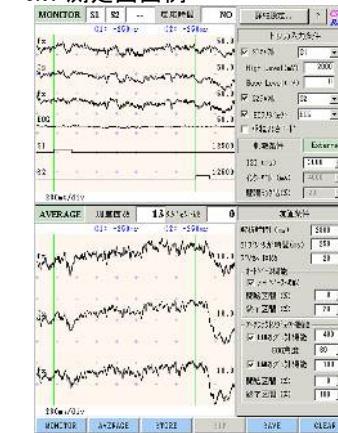
EP Travel Standard2の構成例 (ポリメイト、ノートPC、外部刺激装置などは含まません)



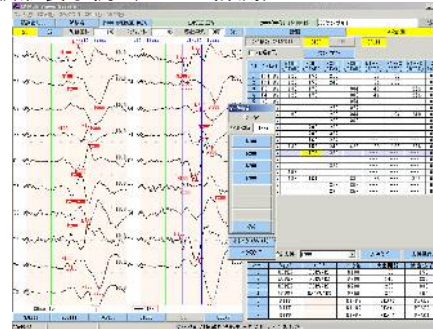
P300 測定画面例



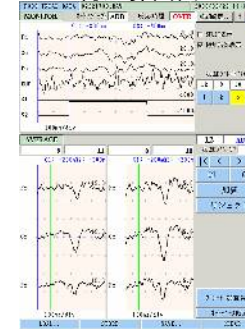
CNV 測定画面例



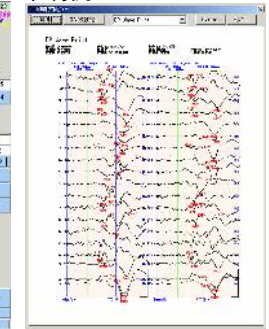
波形表示例 (マーカ計測)



P300 再加算画面



印刷例



仕様

- 計測チャンネル数 最大ポリメイトチャンネル数、(トリガ入力 2Ch)
- 刺激出力 なし
- トリガチャンネル数 2 系統 (P200)、CNV 時には 1 系統、レベル指定可能
- 刺激モード 外部刺激モードのみ
- 反応時間 不可
- リアルタイム加算モニタ 可能 (刺激モニタも切り替えで可能)
- ファイル保存 加算結果及びトリガごとの切り出し波形、CSV ファイル
- マーカー機能 EP Multi Viewer にてマーカー、オートマーク可能
- 波形表示 4 データの並列表示、SPLIT 表示、スロー・インポーズ表示
- 印刷 表示波形の印刷
- 再加算 切り出し波形の任意再加算、グレード加算可能
- クリップボードコピー 表示波形イメージ及びテキスト形式でクリップボードコピー

このソフトウェアは、基礎医学研究用途にご使用ください。

動作環境

- 収録・解析パーソナルコンピュータ (PC/AT 互換機) Pentium4 2GHz 相当以上
 - メモリ 2GB 以上 (推奨 4GB 以上) ハードディスクの残り容量 10GB 以上
 - 表示解像度 1024×768 以上 (解析時には 1280×1024 以上推奨)
 - 対応 OS Windows7, Windows8, Windows10, Windows Xp (日本語対応)
- (リアルタイム加算はポリメイト動作環境のみ可能)

開発元 (有) のるぷろライトシステムズ 問い合わせメール noru@fb3.so-net.ne.jp

〒185-0003 東京都国分寺市戸倉 2-11-25 TEL/FAX 042-304-1951 できるだけメールでお問い合わせください。